

米沢興譲館同窓会会報

第38号

発行／平成21年8月1日
米沢興譲館同窓会
会報編集委員会

当会報の題字は、第19号から奥山徹石氏(昭和28年卒)の揮毫によるものです。



天の時地の利人の和 われら興譲の心

平成二十一年度同窓会総会

実行委員長 鈴木 基 (昭和四十九年卒)

直江兼統の一生を描くNHK大河ドラマ「天地人」は大変好評のようです。文武両道に秀でた兼統は「榊林文庫」という学問の修業の場を創設して米沢藩士の教育を図り、その精神は鷹山公が創設した興譲館へと受け継がれました。

創立一二三年の米沢興譲館同窓会総会・懇親会は「天の時地の利人の和われら興譲の心」をスローガンに開催致します。今年は昭和四十九年、五十三年、五十八年、平成元年、六年卒が実行委員を務めますが平成卒が二学年になりました。この総会・懇親会は同窓生が一堂に会し懇親を深め、興譲の精神に触れることのできる場です。

しかし若い年代の参加者が非常に少ないのが現状です。今後、同窓会を引き継ぎ、発展させるためには若い力が必要です。学舎は違っても興譲館で育まれた精神は一貫しています。今年は若い方が楽しんでいただけるように、工夫を凝らしました。是非多くの同窓生にお集まりいただき盛り上げていただきたいと思います。



若返りをはかり 活発な同窓会に

同窓会長 高野 譲

今年の米沢は「天地人」ブームで沸き返っています。空前と言っている観光客の来訪で、上杉神社、伝

国の杜周辺は連日賑いを見せています。今更ながら、テレビの影響力の大きさを

実感しているところです。

先に、「敵兵を救助せよ」という本の出版や、

テレビの放映もあったので

ご存じの方も多いと思いますが、第二次大戦中、英国兵四二二名を救助した駆逐艦「雷」の工藤艦長について、その偉大な功績を顕彰しようという動きが出てお

ります。この工藤俊作中佐は屋代村出身で、興譲館大

正九年卒の先輩です。地元高畠支部の有志の発案で、顕彰碑の建立をすることに

なりましたので、同窓会と

しても全面的に協力したいと思えます。この募金に多くの賛同者が出られるよう

お願いいたします。

平成二十一年を迎え、平成の卒業生も数多く出てお

ります。同窓会も若返りをはかり、新たな活動をして

いかなければなりません。そこで、平成卒の学年代表者に集まっていたいただき、新鮮なご意見を聞く会を先頃

んどですが、先輩学年の具体的な取組みの様子などを実際に聞いて、今後に活かして行こうという意欲がうかがえて、有意義な会でした。こうした機会をこれからも数多く持って、活発な同窓会にして行きたいもの

です。各支部・各学年の更なる活躍をご期待申しあげ、ごあいさつと致します。

米沢興譲館同窓会

平成二十一年度

総会・大懇親会ご案内

- 一、日時 平成二十一年九月十九日(土曜日)
二、会場 グランドホクヨウ(市内金池二丁目)
三、日程 ①総会 午後四時三十分
②大懇親会 午後六時

米沢興譲館同窓会会長

高野 譲

平成二十一年度同窓会・懇親会実行委員長

鈴木 基

(昭和四十九年卒)



生徒たちのことなど

校長 蒲生 直樹

この春の卒業生一九二人の内、国公立大学への合格者は一三二名(延べ)。数だけなら、もっと多い学校はあるが、国公立大学への合格率六八・八%は、全国的に見ても、あまり見当たらない数字である。内容の上でも、主な難関大学では、東大に現浪各一の二名。一橋一、京都二名はそれぞれ現役。東北大には、昨年の二十一名に続き、今年も二十二名。医学部医学科では、東北大二名、山大一名の現役の他、同じく山大一浪人一名。なお、私立では早稲田に現役四名を含む七名。慶応には五名、内現役二名。

苦しみながらも最後まで部活動との両立を目指し、部活引退後は、夏、冬の長期休業中にも、そしてセン

ター試験後の自由登校になつてからも学校に通い続けて勉強した多くの生徒たち。上の数字は、紛れもなく、そのような学校生活を送った生徒たち自身の頑張った結果として、誠に嬉しい数字なのだが、実は、校長としてそれ以上に嬉しかったのは、三月二日に卒業したばかりのこの生徒たちの半数余りが、新たな生活に旅立つ間際の三月二十三日、講堂で行われた先生方の離任式に駆けつけてくれたことである。脱ぎ捨てた制服をもう一度身に纏い、一・二年生の後ろに陣取って、先生方の別れの挨拶に耳を傾ける、この卒業生の姿は、本校に見られる、何年かかの光景である。新聞報道でお世話になった先生の移動を知り、

感謝の気持ちを伝えたい、せめて見送りたいという、この生徒たちの思いこそは、まさに、生徒たちの、大人として成長した証し、と私には思えるのだ。

思えば、自分自身を厳しい環境に追い込んで努力することの辛さとその大切さを知った者こそが、この後の己の人生への自信とともに、他人への思いやりや優しさを身につけるものなのだろう。

校長室で、パソコンに向かい、まさにこの文章を打っている、その時である。四人の三年生が思い詰めた顔つきで校長室を訪ねてきた。私へのお願ひがあるという、その中身は、せめて三年生だけでも、明日の甲子園予選二回戦、皆川球場で新庄神室産業高校と戦う



同窓会のうぐき



ごあいさつ

米沢支部長

早川 正信

このたび、標記の仕事を
お受けしました。前任者
でおられる小関 薫さんの
長年のご尽力にまず感謝い
たします。さてその後継を
どうつないで行ったらい
か、これが当面の課題で
す。

わが母校興譲館の同窓会
は、歴代の偉大な会長、役
員の作られた集積のうえに
立ち、他には見られないよ
うなしっかりとした組織であ
り、間違いない未来に向っ
て歩み続けているように見
受けられます。

しかし最近、こうした時
系列的な組織を担当する人
達から困惑の声がしばしば
聞かれます。それは、国民

年金の加入率ではありませ
んが、若い世代の人々の
無関心や全く興味を示さな
いという現象があることで
す。同窓会を、こうした傾
向が強くなっているとする
なら、何とか真剣に考えて
ゆく必要があることは言う
に及びません。もしこの会
が、年輩者ばかりの集まり
であれば、懐古談に花咲く
ことがあっても実はあまり
期待できません。やはり若
い人の結ぶ実がなければ、
豊かな将来は望むべくもな
いところです。わが同窓会
に、もしこの弊があるとし
たら、このあたりから具体
的に、しかもスローガンで
はない現われ見える形の策



興譲館山形県庁・教育委員会
同窓会支部の集い

支部長

仁科 義英

が今こそ必要と考えます。
米沢支部は、地元であ
るだけ多くの会員が住むと

ころです。その力を本部を
支える力として発現して行
くことが当面の課題かなと
思っているところです。
皆様のご協力を切に念じ
上げます。
(二〇〇九・七・五)

本会は「山形県庁及び山
形県教育委員会に所属する
職員で村山地区に勤務する
者を以って組織する。」と
いうことになっており、今
年度は、百十数名の会員数
である。また、本会の会長
職を務められた方や県議会
議員には顧問になっていた
だいている。

本会の行事は、一つは、
総会・懇親会であり、もう
一つは、近年は芋煮会とな
っている。簡単に言えば、
飲み会二回が、本会の活動

である。総会・懇親会の様
子を紹介すると、今年は、
六月五日(金)夕刻に亀松
閣で開催した。亀松閣は、
薬師堂の側、千歳公園に在
る老舗料亭であるが、本会
の総会・懇親会は必ずここ
(なぜここなのか知らない
が、すでに確固とした伝統
である。)で開催される。今
回は、四十数名の参加であ
ったが、いつもどおり顧問
の方々、そして来賓とし
て、同窓会の高野会長、母
校の蒲生校長に御出席をい
ただき、母校の後輩たちの

活躍の話などを聞かせてい
ただいた。その後、酒を酌
み交わし、しばし懇親の
後、終わりに、これもい
つものとおりの、若い幹事役
数名が前に出てリードをと
り、皆で、校歌、凱歌、そ
して自治会歌を歌い、また
幹事たちがエールを切る
(高校の応援団さながらで
ある)のに拍手した。楽し
い一時であった。

本会は、県職員の集まり
である。皆、大変忙しく働
いている。同窓会の飲み会
で、先輩から後輩に声をか
け、後輩から先輩に相談を
することが、元氣回復に役
立っているならうれしく思
う。

今年は、大不況ではある
が、NHKの「天地人」で
米沢は大変に盛り上がり
おり、山形市でもそうであ
る。「義」と「愛」と、ま
さに公務員が持たねばなら
ぬテーマが、クローズアップ
されているところであ
り、大いに頑張らなければ
と考えている。

(平成二十一年七月)

トリオ三年一組 ただいま団員募集中

山田紀夫、菅田克彦、大沼悌一

(昭和二十九年興譲館高校卒)

ひょんなことから昭和二十九年卒三年一組の三人がトリオを組むこととなった。

歌曲は山口紀夫(バリトン)が歌い、菅田克彦君が現在もヴァイオリンとバドミントンをやっていると、もう記事があった。大沼悌一もまったく同じことをやっている。それで大沼が早速郡山にいて菅田のところに出かけて行き、土曜日の夕方バドミントンの試合に参加し、翌午前中ヴァイオリンを合わせた。その時同じ同級生の山口紀夫君が横浜国立大のグリーククラブでバリトンを歌っていたはずだとの話題が出た。山口君と連絡をとった結果、彼もまたグリーククラブのOBで組織するウータンの会に入っており、こんどモーツァルト

を歌うという。

菅田君の発案で、山口君のモーツァルトの歌曲をピアノに代わって菅田(第一ヴァイオリン)、大沼(第二ヴァイオリン)で伴奏しようということになった。その後プロの作曲・指揮



(左) 山口 (中央) 大沼 (右) 菅田

者、阿知波吏恵先生に編曲と指導をお願いすることができ、なんとかモーツァルトの「すみれ」「春へのあこがれ」が演奏できた。ちなみにウータンの会とは田中清隆氏に声楽を習っている六十歳から八十歳の横浜国立大出身の熟年者で、発表会は二〇〇七年四月二十五日(水)、横浜市旭区民文化センター「サンハートホール」にて行なわれた。聴衆は約百五十人、発表者二十名であった。山口君のバリトンはうまうまいったらしいが、なにせヴァイオリン奏者はいずれも定年退職後に始めた、まったくの「初心者」であり、発表会では聴衆の笑いを誘い、ついでに励ましの拍手をいただいた。

その後大沼の医院(東京都国分寺市)で組織するアンサンブルむさし(ピアノ、フルート、ヴァイオリン、チェロ、ギター、トーンチャイム、サクソフーン、鍵盤ハーモニカ、パーカッションなどで構成)の発表会にも、友情出演することとなった。第一回の発表会は武蔵野スイングホールにて二〇〇八年四月十三日に、また第二回の発表会は二〇〇九年四月二十六日に国立市のレストラン・フェルミエールにて行なわれた。このアンサンブルのメンバーは楽譜も読めない初心者が多いが、トリオと一緒に月一回、定期的に練習している。

トリオの次の目標はメンドルスゾーンの「歌の翼に」、「緑の森よ」、ドイツ民謡「故郷を離るる歌」、原作者不明の「千の風になつて」である。また菅田君が努力して「三年一組トリオのための阿知波吏恵による歌曲と弦楽のための作品集第一巻」が出来上がった。指導者の阿知波吏恵先生とは東京芸術大学大学院作曲科卒で国立音楽院講師である。現在も手広く作曲・編曲・演奏活動を行なっている若き女性で、懇切丁寧なよき指導者である。

最近歌曲をうたう歌姫がいたらいいなということが三人の話題に出て、ついでに弦・管楽器も歓迎することとなった。初心者でも大丈夫、プロの指導者が懇切丁寧に指導してくれる。練習は月一回むさしの国分寺クリニク四階で行なっており、その晩は近くにあるビジネスホテルに泊っていただき、夜一献を重ねることにしている。興味のある方は「むさしの国分寺クリニク、大沼」にご連絡ください。

(電話〇四二一三二八一五六〇、FAX〇四二一三二八五五九)

なお、バドミントンの方も互いに熱心で、ついでに菅田・大沼ペアが過去二年、全日本シニアバドミントン選手権大会七十才以上の部に出場したことも付け加えておく。(文責 大沼悌一)

平成19年度 同窓会会計決算書

(平成19年9月1日～平成20年8月31日)

収入の部

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
繰越金	1,702,975	1,702,975	0	前年度繰越金
入会金	1,631,000	1,624,000	△ 7,000	7,000円×232名
年会費	2,300,000	1,450,000	△ 850,000	
過年度会費	0	0	0	
雑収入	1,025	2,987	1,962	預金利子
計	5,635,000	4,779,962	△ 855,038	

決算額

収入済額 4,779,962 円 支出済額 3,261,158 円
 = 残額 1,518,804 (次年度へ繰越)

支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	備考
運営費	1,580,000	1,228,320	351,680	
会議費	200,000	88,652	111,348	理事会等
通信連絡費	100,000	9,317	90,683	郵便切手・振込手数料
需用費	300,000	150,351	149,649	用紙・封筒・弔電
人件費	980,000	980,000	0	人件費会計へ繰出し
事業費	3,060,000	2,032,838	1,027,162	
一般事業費	2,500,000	1,500,375	999,625	各支部総会(旅費・お祝い)・会報送料補助・インターネット立ち上げ・総会補助金・原田めぐみ選手壮行会・七夕/運動費用他
卒業記念費	240,000	217,738	22,262	記念品代(233名分)
表彰費	20,000	14,725	5,275	永年勤続者(1名)
会報費	300,000	300,000	0	会報 第37号 7000部
予備費	995,000	0	995,000	
予備費	995,000	0	995,000	
計	5,635,000	3,261,158	2,373,842	

窓会支部役員

☎(0238) 52-0017

副支部長 梅津伊兵衛 星 寛治
 幹事長 鈴木 征治
 事務局長 金田 成康
 連絡先 高島町役場 ☎(0238) 52-1111

○赤湯支部

支部長 佐藤 有弘
 副支部長 石岡 忠一 須藤 清市
 事務局長 三ヶ山岩男

○宮内支部

支部長 佐藤 稔
 副支部長 川合梯次郎 星 清一
 幹事長 吉田 文雄
 監事 高橋 正夫
 連絡先 〒992-0472 南陽市宮内 3010-10
 ☎(0238) 47-2706 (吉田文雄)

○川西支部

支部長 鈴木 弘
 副支部長 船山 昭司 島津 憲英
 監事 猪狩 文昭
 幹事長 島貫 啓一 後藤 哲雄 大友 勝治
 事務局長 連絡先 〒992-0121 東置賜郡川西町上小松

川西町役場 ☎(0238) 42-1111 (猪狩文昭)

○長井西置賜支部

支部長 松下 鈴三郎
 副支部長 井上 俊雄 芳賀 康雄
 幹事長 渡部 秀一
 事務局長 斎藤 道郎

○小国支部

支部長 高橋 清人
 副支部長 伊藤 通芳 小林新太郎
 事務局長 高野 健人

○県庁・教育委員会同窓会

支部長 仁科 義英
 副支部長 遠藤 啓司
 幹事長 菅野 亮一

○興譲館同窓会校内役員

理事 大貫 英一 猪俣 幸一
 幹事 本間 精 二瓶 秀一 佐藤美枝子

*なお、○置賜地区県職員同窓会は現在役員未決定

平成20年度 同窓会会計予算書

(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

収入の部

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
繰越金	1,518,804	1,702,975	△184,171	前年度繰越金
入会金	1,344,000	1,631,000	△287,000	7,000円×192名
年会費	2,300,000	2,300,000	0	昭35年～平11年まで5万円(40学年) 昭25年～34年まで3万円(10学年)
雑収入	2,196	1,025	1,171	預金利子
計	5,165,000	5,635,000	△470,000	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備 考
運営費	1,580,000	1,580,000	0	
会議費	200,000	200,000	0	理事会等
通信連絡費	100,000	100,000	0	郵便切手
需用費	300,000	300,000	0	慶弔・事務用品
人件費	980,000	980,000	0	人件費等
事業費	2,830,000	3,060,000	△230,000	
一般事業費	2,300,000	2,500,000	△200,000	各支部総会・高鍋高校との交流事業
卒業記念費	200,000	240,000	△40,000	記念品代(192名分)
表彰費	30,000	20,000	10,000	永年勤続者(2名)
会報費	300,000	300,000	0	印刷費
予備費	755,000	995,000	△240,000	
予備費	755,000	995,000	△240,000	
計	5,165,000	5,635,000	△470,000	



米沢興譲館同

○本部

会 長	高野 譲			
副会長	相田 英一	大友 恒則	中保 淳子	
常務理事	遠藤 岩根			
常任理事	星野 武雄	小野 隆夫	小林 擴二	
	平山孫兵衛	小嶋彌左衛門	渡辺 節子	
	佐野 隆一	鈴木 基	加藤 英樹	
監 事	野口 義人	江部 寛	土田 一成	

○米沢支部

支 部 長	早川 正信			
副支部長	菅野 武巳			
監 事	安達 治雄	安田 道隆		
幹 事 長	相田 修一			
事務局長	栗林 雄二			
連絡先	〒992-1443 米沢市大字笹野 1101 米沢興譲館高等学校内 ☎(0238)38-4741			

○東京支部

支 部 長	神野 民夫			
副支部長	吉田 仁志			
幹 事 長	吉田 仁志			
連絡先	〒120-0002 東京都足立区中川4-8-3 ㈱ハナマル内 吉田仁志 ☎(03)3606-4121 FAX(03)3606-6101			

○関西支部

支 部 長	堤 伸陸 (事務局長・連絡先を兼ねる)			
-------	---------------------	--	--	--

副支部長

幹 事 長	佐藤 吉憲	吉田 真		
連絡先	佐藤 和栄			
	〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町5-1-1203 ☎(072)851-4848(FAX共)			

○宮城支部

支 部 長	中條 仁			
副支部長	和田美知子	御供 政敏	森下 和夫	
監 事	猪俣 良市	熊坂 仁		
幹 事	小林 令児	矢尾板範子	大武 清夫	
	小関 隆久	金子 謙一	高木 三男	
事務局長	安部 雅人			
連絡先	〒983-0862 宮城県仙台市宮城野区二十人町6 ☎(020)291-5372 (中條 仁)			

○山形支部

支 部 長	二瓶 功			
副支部長	長尾 良彦	堤 孝雄	後藤 寛	
幹 事 長	生亀 寿子			
幹 事	横井 洋子	花輪 完治		
監 事	安藤 隆夫	岩沼 甫		

○高島支部

支 部 長	登坂 捷一			
	〒992-0351 東置賜郡高島町大字高島 2152-23			

「大学・施設等見学会」改め

「東京キャリア研修」

総務課 猪俣 幸一

私事、昭和五十年代前半を生徒として興譲館ですこさせていただき、大学卒業後、置賜地区内県立四高校を経て、母校勤務六年目をむかえさせていただいております。

生徒当時、勉強には苦勞しつつも、三年間、公的にも私的にもさまざまな行事や出来事があり、退屈していた憶えはまったくありません。よく「興譲館は修学旅行がなくてつまらない」といわれていたようですが、単にみんなと泊まることのみを考えれば、毎年の登山とマラソンで計六泊もあり、共に語らい合うには十分だったと思っています。

さて、現在の興譲館はというと、修学旅行ではありませんが、平成十二年から「大学・施設等見学会」を実施しています。泊をともないつつ（最初の三年は一泊二日、その後は二泊三日）、見学先は、これまで仙台・福島・つくば等を含め変遷はありますが、昨年は下にあるように東京都内及び近郊の大学・企業・科学文化施設を見学しながら、進路意識を高め、進路目標確立の一助としました。本物を目の当たりにし、また、企業・大学の見学に際しては、本校OBの方々にご案内いただき、卒業生という身近な存在の方が、日本の中枢で働いておられること、さらに身近な現役大学生からの生の声を聞くことで、大いに刺激を受けたことは紛れもありません。この内容からすれば、まさしく「学を修むる旅」といえるでしょう。

う。本年度はネーミングを「東京キャリア研修」と改め、十一月十二日（木）から十四日（土）までの三日間、実施いたします。今の生徒たちは、進路の目標を定めるに当たり、各大学のオープンキャンパスやインターネット等、我々の時代とは比べものにならない多くの情報を手に入れることができます。しかし、その多くは万人向けのものであるために、ある意味良くも悪くも漠とした情報にすぎません。その点、後輩である生徒たちを思ったださっている先輩方からのお話やアドバイスは、いつの時代にも貴重なものであることは変わりありません。この他にも同窓生の皆様には「創立記念式典・記念講演」「同窓生と語る会」

「先輩からのメッセージ」等でもお世話になっております。これらの会に限らず、折に触れ後輩である生徒たちを気にかけて語りかけていただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成20年度 第2学年大学・施設等見学会 日程

11月13日(木)

6:30 学校集合
6:45 出発式
7:00 学校出発
12:00 昼食
13:00 系別研修
【理数科・文系(選択制)】
①みずほ銀行
②テレビ朝日
③講談社
④法務省
⑤J R東日本
⑥理化学研究所
⑦清水建設技術研究所
⑧スポーツ科学センター
【理系】
日本科学未来館研修
17:30 夕食
19:30 ホテル到着
20:00 研修会

22:00 点呼
23:00 消灯

11月14日(金)

7:00 起床
7:30 朝食
9:00 コース別研修 卒業生講話
①文系2コース
②理系3コース
11:00 大学見学
東京大学大学院
東京大学、一橋大学
東京外国語大学
東京農工大学
東京学芸大学
お茶の水女子大学
埼玉大学、千葉大学
慶応大学、早稲田大学
東京理科大学、明治大学

15:00 大学見学終了後、他の大学施設を見学各自夕食
19:30 ホテル到着
20:00 研修のまとめ 報告
22:00 点呼
23:00 消灯

11月15日(土)

7:00 起床
7:30 朝食
9:00 ホテル出発
9:30 上野公園内文化施設研修
東京国立博物館
国立科学博物館
国立西洋美術館
東京都立美術館
12:45 昼食
13:40 出発
18:40 学校到着、解散式